

伊集院保健所感染症情報

2025年第3週（令和7年1月13日～令和7年1月19日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内警報発令中：インフルエンザ

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第52週	第1週	第2週	第3週	先週からの増減	第2週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	76.40	58.40	36.80	16.40	↘	40.00	↗
COVID-19	-	-	-	4.00	9.60	7.20	5.00	↘	5.04	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	1.33	0.00	1.00	0.00	↘	0.78	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	1.67	1.33	2.00	3.00	↗	1.76	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	8.00	2.33	2.00	4.33	↗	4.56	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.29	↗
手足口病	5	2	-	2.33	1.67	0.33	0.00	↘	0.45	↘
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.08	↗
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.22	↗
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.33	0.00	0.00	→	0.00	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.33	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↗
RSウイルス感染症	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.22	↘
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			2週届出 破傷風 1（1）							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

TOPIC

破傷風について

当保健所管内において破傷風発生の届出がありましたので、症状や注意点について解説します。

破傷風とは、破傷風菌が産生する強力な神経毒によって引き起こされる感染症です。世界中で広く見られますが、特に発展途上国での発症が多く見られます。破傷風菌は土壌に広く生息しており、錆びた釘が刺さったり、庭いじりをしているときにケガをしたり、動物にかまれたりするなど、小さな傷口からも感染することがあります。ただし、ヒトからヒトに直接感染することはありません。

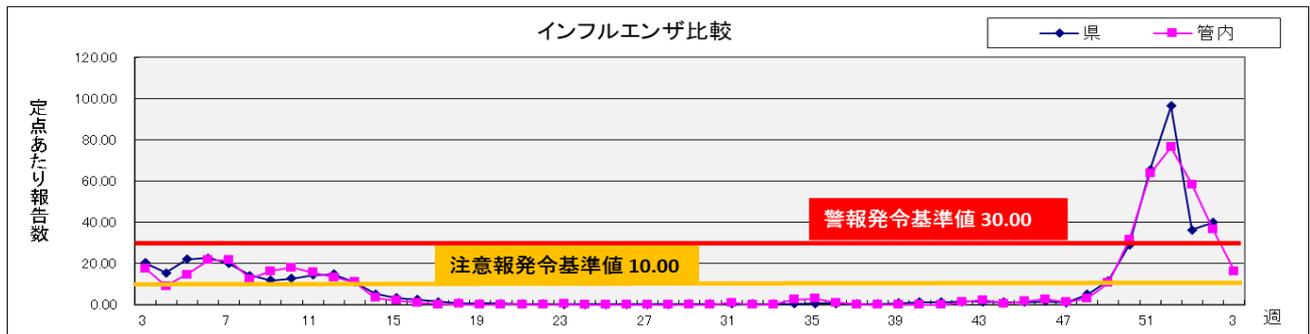
症状は、口を開けにくい、首筋が張る、体が痛いなどの局所症状が現れ、その後、体のしびれや痛みが体全体に広がり、全身を弓なりに反らせる姿勢や呼吸困難が現れます。重篤になると呼吸筋の麻痺により窒息死することもあります。なお、潜伏期間は、3日～3週間（平均1～2週間）です。

治療には、抗菌薬を用います。また、体内の毒素に対しては抗菌薬の効果がないため、毒素の中和目的に抗破傷風免疫グロブリンを用います。さらに、傷口の治療や呼吸をやすくするための治療も併せて行われます。また、ワクチン接種が有効であり、受傷した方のワクチン接種歴に応じた追加接種が推奨されています。

早期発見、早期治療が予後を大きく改善しますので、深い傷や土壌に汚染された傷ができた際、破傷風が疑われる症状が出現した際は、早めに医療機関を受診しましょう。

● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（管内に警報を発令中）

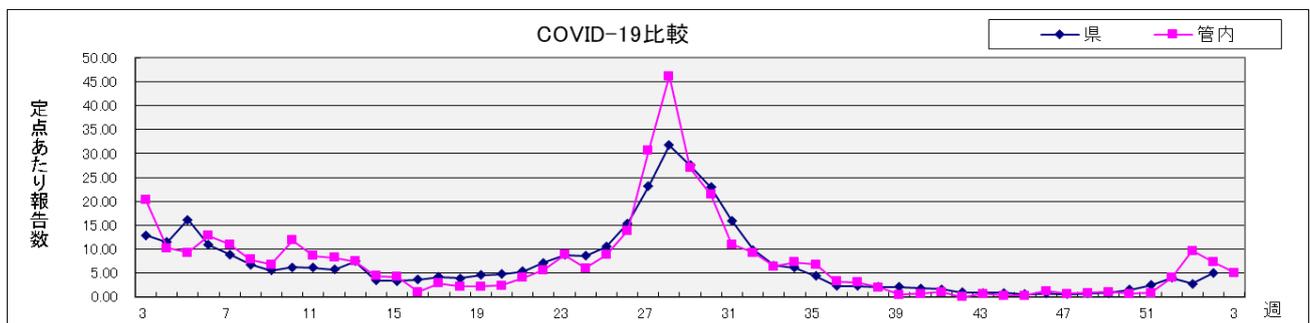


第3週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、2週の184人（定点当たり36.8）から102人少ない、82人（定点当たり16.0）となりました。

年齢別の報告では、7歳（9人）、10～14歳（8人）、2歳・8歳（各7人）、9歳・80歳以上（各6人）、3歳（5人）、1歳・4歳・5歳・15～19歳・20～29歳（各4人）、6歳・40～49歳・60～69歳（各3人）、30～39歳・70～79歳（各2人）、50～59歳（1人）となっています。

発症すると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。これにより、重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

・COVID-19



第3週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、2週の36人（定点当たり7.20）から11人少ない、25人（定点当たり5.00）となりました。

年齢別の報告では、80歳以上（7人）、10～14歳（4人）、30～39歳・70～79歳（各3人）、50～59歳（2人）、2歳・4歳・6歳・9歳・20～29歳・60～69歳（各1人）となっています。

新型コロナウイルス感染症の主な症状は、発熱、呼吸器症状（咳、咽頭痛）、頭痛、倦怠感等です。下痢、嘔吐、嗅覚・味覚障害をおこす事もあります。

感染症予防のポイント

- ①咳エチケット（口・鼻を覆う）
 - ②「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」
 - ③換気（部屋の換気を定期的に行う）
 - ④集団生活の場では、共用部分の消毒
- 基本的な感染対策ができていないか見直しをしてみましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 1/13～1/19（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

第3週の出席停止については、インフルエンザ患者が72人（内訳：非定型別インフルエンザが57人、A型インフルエンザが15人）、感染性胃腸炎が2人、マイコプラズマ感染症が4人、COVID-19が7人報告されています。

自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	感染性胃腸炎	マイコプラズマ感染症	新型コロナウイルス感染症
日置市	50	13	1	4	4
いちき串木野市	7	2	1	0	3
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	57	15	2	4	7